

# 地域再生ファンドの現状について

## ～静岡ファンドの事例から

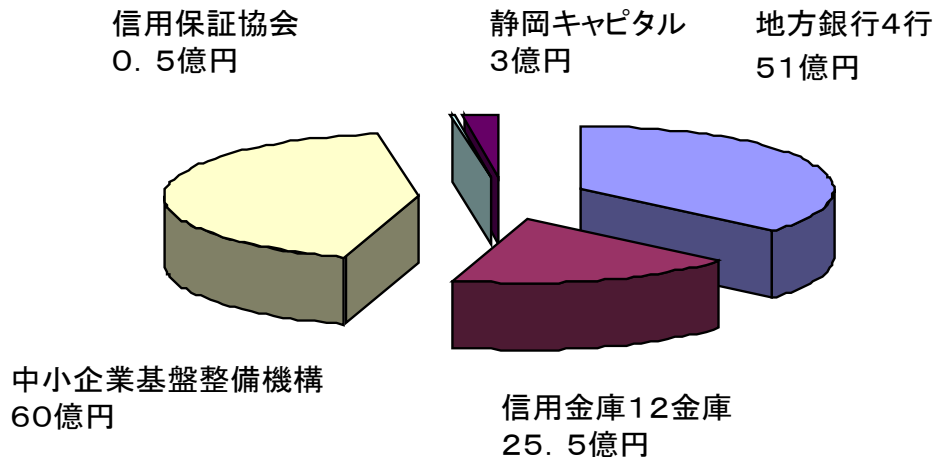
平成24年12月

静岡キャピタル株式会社

# 静岡中小企業支援ファンド(1~3号)とは

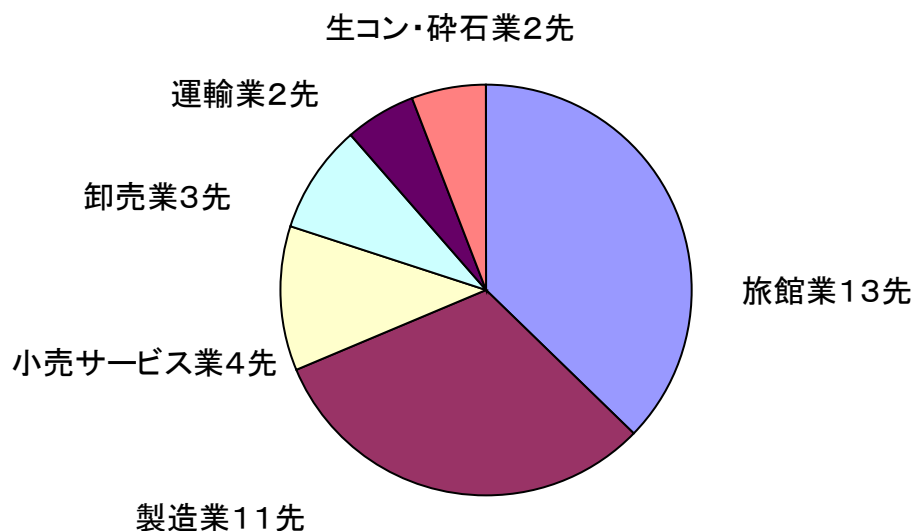
- 設立時期 平成16年3月 1号がスタート 足かけ9年目  
県下の全地域金融機関・信用保証協会が出資する「オールスターファンド」
- ファンド規模 140億円 (1号40億円 2号60億円 3号40億円)
- 出資期間 7~8年(ただし、3年まで延長可)

- 出資者



## 支援実績 (1～3号ファンド 合計)

- 支援先数 35先 うち再生完了先 17先 支援中 18先  
持込機関別 銀行 21先 信用金庫 14先
- 従業員数 2,025 人 (支援開始時点)
- 形態 デット(債権買取型)投資 34先 エクイティ(株式)投資 1社
- 投資額 105億円 (平均3億円 0.4億円～10億円)
- 業種別



# ファンドの特長と支援先の選定

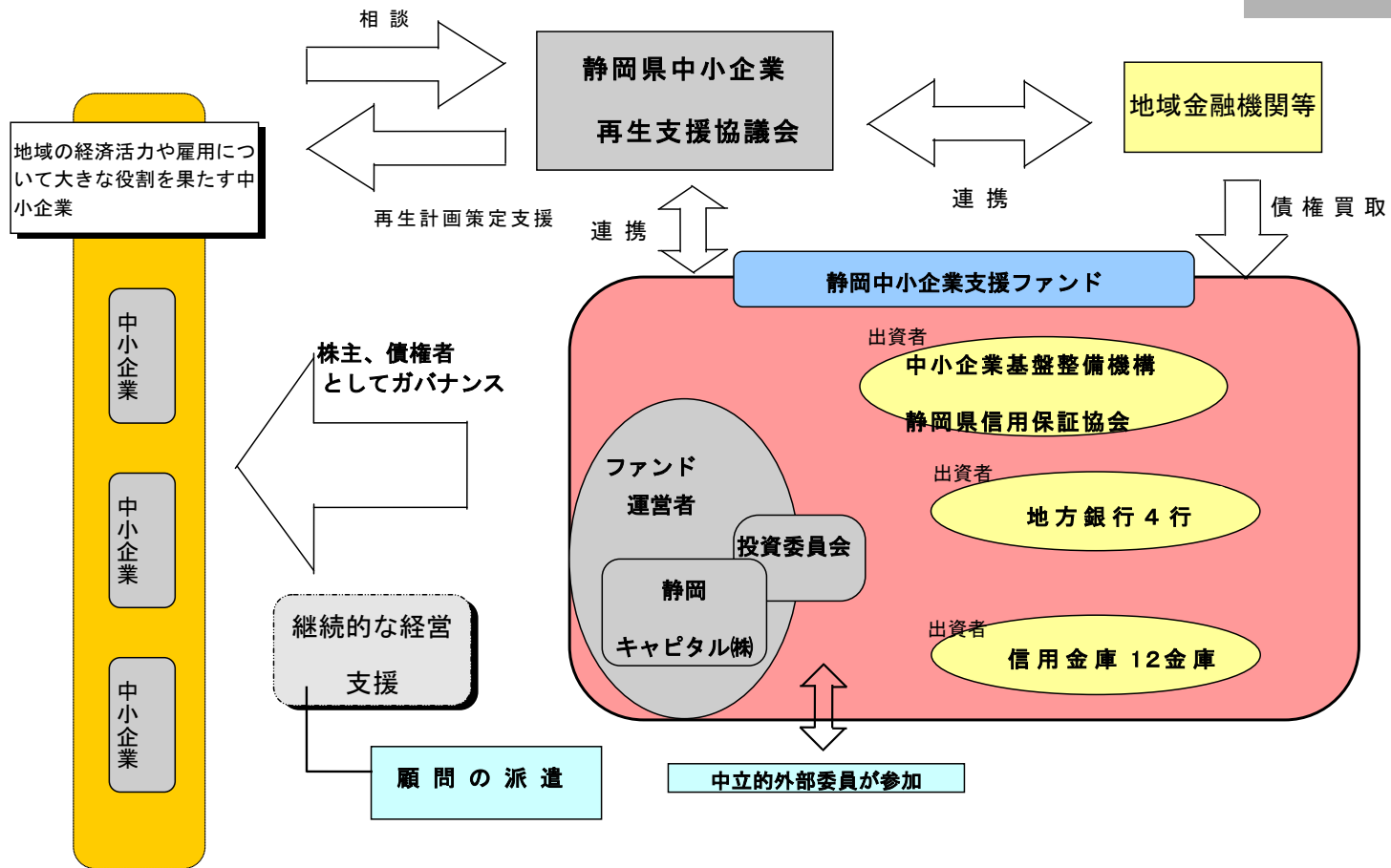
## 1. ファンドの特長

- 官民一体型で中立・公平、収益のみに偏重しない 支援先と金融機関から絶大な信用
- 風評被害への配慮 支援先名・金融機関名はすべて匿名、ファンド出資者にも非開示
- 再生完了後は元の金融機関に戻るのが原則 バルクセールとの根本的な違い
- ファンド専担者(7名) + 現地派遣顧問(10名) + 専門家 による手厚いサポート

## 2. 支援対象先

- 過剰債務等により業績不振に陥っているものの、本業には相応の収益力があり  
経費圧縮、事業見直し、財務リストラ等により再生の可能性がある企業で、原則として  
県内中小・中堅企業で「県中小企業再生支援協議会」が推薦する先

# ファンドのスキーム図



## 再生ファンド ミニ知識

1. 法的整理との違いは？ 私的整理は一般債権者（取引先）を保護
2. 準備期間は？ 標準で6ヶ月、急いでも4ヶ月（資金繰りが命綱）
3. 支援先の格付は？ 破綻懸念先以下（個別貸引が処理済の先）
4. 再生期間は？ 3～5年（再生計画による）
5. 再生完了とは？ 債務超過が解消（または解消見込み）
6. 債権放棄額は？ 3～5年で債務超過を解消（見込み）できるように設定
7. 管理負担は？ 日々の管理はファンドが中心、月例支援会議には参加を

# 再生の現場から

1. 「不測の事態」はあたりまえ 計画どおり は3割以下
  - ・売上げ不振、原価高騰、焦げ付き、未払の発覚
  - ・頼りのスポンサー企業が破綻、予定外の社長交替
2. ファンド派遣の顧問が大活躍 金融機関OBは人材の宝庫
  - ・社内の様子が手にとるように 毎週2～3日 終日駐在
  - ・叱咤・指導／慰労・激励 の二刀流
3. 資金繰り恐怖からの解放
4. もう少し早ければ.....
  - ・企業価値は「毎日」劣化 ⇒ 金融機関の実損額も「毎日」拡大

# まとめ

1. 企業再生は金融機関共通の利益 「ウチは大丈夫」はありえない
  - ・連鎖倒産の発生、破綻先従業員のローン延滞
2. モラルハザードはまぼろし ポイントは再生可能性と経営責任
  - ・心配だった旅館業
3. 債権放棄への心理的抵抗感 気持ちは分かるが、経済合理性で判断を
  - ・ファンド利用時の実損額 < 破綻時の実損額
4. 地元中小企業の命運は、地域金融機関の手に
  - ・信用保証協会、再生支援協議会との固いスクラム



# 平成19年度「再チャレンジ支援功労者表彰」受賞

- 静岡キャピタル株は、これまで金融機関や関係諸機関とともに取組んできた「地域再生ファンド」による地元中小企業再生支援の実績が認められ、平成19年6月に内閣総理大臣から平成19年度「再チャレンジ支援功労者表彰」を受賞致しました
- この賞は再チャレンジ支援において顕著な功績又は功労のあった個人または団体を顕彰するもので全国の24の個人・団体が受賞致しました



写真提供：内閣官房再チャレンジ担当室